北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　№２８０

令和５年１０月２６日

「 竜騰虎闘⑤～本番編～ 」

校長　江　口　　満

体育祭閉会式後、各ブロック解団式の様子

【前号からの続き】体育祭の記事を通して保健体育科教員について綴ってきた。私はもともと数学科教員であるが、実は保健体育科の免許も持っている。大学時代、サッカー部に所属していたこともあって、将来、運動部の顧問になった際、専門的な指導ができるようにという思いで免許を取得した。しかし保健体育を教えたことは一度もない。つまり保健体育科に関しては、完全なるペーパー先生である。

前号で、「体育祭の日だけは、先生方があこがれの保健体育科の教員になれる日だ。」と書いた。それほど体育祭は、教員をも熱くする。体育祭の閉会式を迎え、生徒たちの達成感あふれる顔を見た。まさに教職の醍醐味である。生徒は日々成長する。その成長する一瞬に出逢い、成長の過程を共有できることは教職に就いた一番の喜びであり、それが蓄積されて教員の財産になる。

コロナ禍の中、有観客にこだわって行った昨年の体育祭。その伝統を受け継いだ三年生をはじめとする生徒の皆さんは、大きく羽ばたいた。体育祭当日、我々はその巣立ちの瞬間を目撃したのだ。

そしていよいよ明日の10月27日(金)、文化祭を開催する。その日我々は、「守破離」という時代の目撃者となるはずだ。

「楽しむことができた体育祭」　２年１組　Ｍさん

僕は体育祭をとても楽しむことができた。まず体育委員の仕事。朝早くいくのは大変だったが、テント立てやライン引きなど日頃できないものもできて、とてもうれしかった。Ｔ先生に「最高の体育祭にしてくれ。」と言われたので、その声で頑張れた。次に生徒への声かけ。僕は体育委員ということもあって生徒に声をかけたり、並ばしたりして大変だった。でも練習を通していくうちに皆が応援席の並び方、入退場の行き方を覚えてくれ、しっかりと行動することができた。

ブロック対抗リレー激走の様子

体育祭の日も朝早く行き、その日は特に気合が入っていて、グランド整備もすき間なくやりとげることができ、本番にのぞめた。体育祭が終わり、結果発表で見事学年優勝。ブロックでは準優勝という結果で喜びが爆発し、とてもうれしかった。来年はどちらとも優勝できるように頑張りたい。

「最高の体育祭」　２年２組　Ｈさん

私は今回の体育祭を全力で挑めたと思います。なぜなら放送部としての活動も、競技なども必死に取り組んだからです。一年生の時の体育祭の放送では音響だけだったので、アナウンスが今年初めてでとても緊張しました。だけど実況も途中経過のアナウンスも成功し、見に来ていた家族にその姿を見せられてよかったです。朝早くからスピーカーなどの準備が力仕事で大変だったけど、体育委員の頑張る姿に背中を押されました。今回、様々な改善点

を見つけたので、それを来年の体育祭に生かしていきたいです。

競技ではアスレチック走を楽しんで一位でゴールし、二人三脚ではペアの人と息を合わせて協力でき、旋風は二回走ってきつかったけどみんなで一つになれて絆を深めることができ、とても思い出に残る最高の体育祭になりました。それぞれのブロックの熱い応援を考え、ブロックをひっぱってくれた三年生のかっこいい姿を見届けました。次は私たち二年生が来年最後の体育祭を盛り上げていきます。

ブロック対抗リレーで応援も最高潮に！

「多くを学んだ体育祭」　２年３組　Ｈさん

僕はこの体育祭を通して学んだことがいくつかあります。まず達成感です。僕は今回初めて体育委員になり、早朝から体育祭の準備をしました。グランド整備やライン引き、テントを運ぶのはきつかったけど、体育祭が始まる前にグランドを見たとき「もうすぐ体育祭が始まるんだ。」と感じました。と同時に楽しみという気持ちとまだ早いけど達成感も少し感じました。

次に何事も諦めなければ良い結果になるということです。ブロック対抗リレーやアスレチック走では予想外のところで逆転したり、相手のミスもあって追いついたりすることが何度かあったので、諦めないことは大事なんだなと思いました。

最後に、勝負で負けていても盛り上がっていれば楽しいし良い思い出になるということです。赤ブロックは残念ながら四位という結果になったけど、三年生は落ち込んだり、気を落としたりもせずにただただ盛り上がって楽しんでいたので、行事やイベントは楽しんだもの勝ちなんだなと学びました。

「仲間とつくった体育祭」　２年４組　Ｙさん

私は体育祭を通して、改めて団結することの大切さ、楽しさを実感することができました。体育委員として二週間前から朝や放課後の練習や準備に取り組みました。早起きして朝早くから運動場に出て準備する日々はもちろんきつかったけれど、体育委員みんなで協力して支え合って頑張ることができました。体育祭前のリハーサルで、クラスの先頭に立ってみんなを引っ張ることの責任も感じました。その日から、「今よりもっと気を引きしめて頑張らないといけない。」という気持ちが大きくなり、毎日の練習を有意義なものにしようと一生懸命頑張りました。

体育祭当日、ブロック長を中心とした熱い応援で、一気にクラス、そして黄色ブロックが盛り上がりました。競技中もテントから聞こえてくる応援が力になり、白熱した戦いを全力ですることができました。三年生の全員リレー中もクラスが団結して大声で応援して、全員の熱意をぶつけることもできました。黄色ブロックは優勝できなかったけれど、みんなで一丸となって戦い応援して、楽しい体育祭をつくり上げることができて良かったです！

手に汗握る二年旋風の様子。来年は、君たちが則松中を引っ張る。